

放射線量測定の実証

サーベイメーターでの実施方法

製品を輸出する際に港湾などで放射線量測定が実施されています。フルーク・バイオメディカルのサーベイメーターであれば、国土交通省港湾局の放射線測定ガイドラインに適合するため、問題なく測定を実施できます。製品には、標準でNVLAP校正の証明書が付属します。

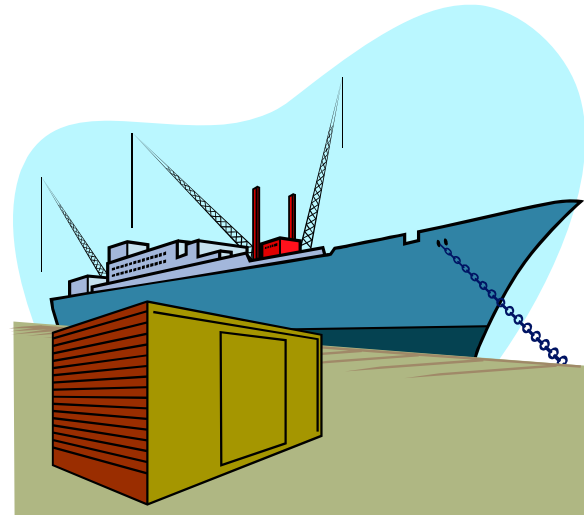
サーベイメーター 451B

片手で持てるハンドヘルドのサーベイメーター。ベータ・スライドの開閉によって、1cm線量当量率(国土交通省ガイドラインによる測定方法)の他、70 μ m線量当量率(表面)測定への切り替えも簡単にできます。

測定レンジ: 50.0 μ Sv/h ~ 500mSv/h (5レンジ)

検出方式: 電離箱(349cc)

確度: $\pm 10\%$ (レンジの10~100%にて)

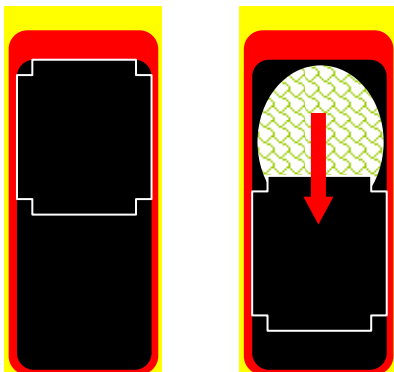


コンテナ貨物のチェックに最適

451B
標準価格¥430,000.- (税別)



ベータ・スライドによる測定基準切り替え
★1cm線量当量率 (閉)
70 μ m線量当量率(開)



安心のNISTトレーサブル
※米国国家標準

現在値の他、積算値が自動的に記録されていますので、モードを切り替えていつでも積算値をチェック可能です。



本ガイドラインは、東日本大震災における福島原発問題に関連し、国土交通省港湾局総務課危機管理室より公布されております。
(http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000101.html)